

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 13日

事業所名 みやざきチャイルドセンター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	16	2	●グループごと、移動出来ている ●廊下等で混雑しがちな時には、誰が近くにいる等の声替えを常にするようにしている	●リハスペースが2部屋+職員室の3つなので、STが追加になった時お部屋を上手く回す必要がある ●人数によっては狭さを感じることもあるので、マットでの仕切りに限界を感じるケースが増えている(身長が伸び向こう側が見える、倒して解決することを学習している)ので環境調整が難しいことがある
	2	職員の配置数は適切である	18	0	●特性の強いお友達への職員配置がしっかり出来ている	●保育士資格を持っている職員だけでなく、福祉系や心理系の専門職員もいると多角的な視点で療育を展開することができるのではないかと考える ●仕方がないが専門性にはばらつきがあると思う。個人の想いが強すぎる場面も見受けられる。 ●全体的に職員の専門性が上がると良い ●数字的には適切であると思うが、特性の強いお友だちが多いグループや、介助の必要なお友だちの多いグループに関してはどうなのだろう…と思うことがある。特性の強いお友だちは、一層の支援や注意を必要とするため、何もなくて来れるお友達に支援が行き届かず犠牲になっている部分も見られるのではないかと考える。そのグループの担当になった時には、支援を充分に提供しつづけることへの歯痒さがあります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	18	0	●カード提示とタイマー、クラス分けボードを年齢の低いお子様から習慣づけて見せるようにしている ●タイムタイマーを使用し、切り替えが難しいお友達への視覚支援(カード)を使用している	●ほしのへや等部屋に名前がついているが、大体的場合運動の部屋などと呼んでいてダブルスタンダードになっている。ほしの部屋で運動あそびなどと訂正した方がいいなと思っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	18	0	●玩具、お部屋の消毒を毎日行っている。	●制作棚や絵本棚に登って楽しんでるお子さん。マット等で環境調整をしているが、結局昇り降りしてしまう。何度も繰り返すと職員もそのような行動を見逃して声をかけない様子が散見されるのは、適切な支援ではないと思う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	15	3	●昼休みの時などに話題に挙げたり、気になることは別の職員に尋ねて子どもの様子を聞いたりしている ●療育中の環境設定や支援の仕方について、職員間で振り返り等の時間に共有を行っている。	●もう少しずつ、各個人が業務を長期的に把握し、先んじて回せると良い。 ●PDCAサイクルを正しく理解している、また、サイクルを活用しようとしている職員が少ないように感じる ●個人間でたずねて納得してしまっことは周りに共有せずにいることが時々あるので改めたい。 ●カンファレンスを行っているが、みんなの周知が出来ていない
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	18	0	●保護者等とお話する機会がしっかりお話しするようにしている	●もう少し療育の様子を見てもらう機会があっても良いと思う。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	18	0		●保護者への一斉メールや毎月のお便りの中に、敬語、丁寧語の表記に誤りが見られることがある。例えば、漢字にする必要がない部分を漢字にしていたり、～になります、などの口語的な表現等が見られたりすることがある。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	15	3		●外部評価はないのかもしれませんが、名前をよく聞かからという理由でご訪問して下さる所があったりするのだからとポジティブなイメージのある事業所なのだと思います。来て下さる方にその辺を明確にお聞きしてもよいかと思います。 ●外部の専門家(コンサル業者も悪くはないが、より純粋に障害児保育や心理学、発達関係の研究教育に携わる専門家)によるスーパーバイズのような動きを取り入れてみてはどうか。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	18	0	●自分でも講習会や勉強会に参加しています。 ●zoom等の研修も積極的に業務時間内に受けさせて頂けるので助かります ●詳しくではないが、毎日の振り返りの時間やカンファレンスを実施している	●特性理解についてももう少し踏みこんで考える機会を設けていけると良いと思う。 ●研修報告に上げてもらっているが、見る時間が取れない。また、内容で分からないところや掘り下げたいところがあってもたずねる機会がない。直接コンタクトが取れないこともあるので報告を読んだ人の質問を書く欄が欲しい。
適切な支 援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	18	0	●日頃より、保護者様とのやり取りの中でお困りのことがあった場合は、職員間で共有し、保護者様へお返事するようにしています。 ●保護者と意見の交換を通して一方通行な思いにならないよう気をつけている。	●家庭で取り組めるような支援があると思う。モニタリング時にビデオで見てもらうなど。参観日には遠巻きでしか見れないので。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	18	0	●カンファレンスやモニタリング前にKIDSの項目を確認するようにしている。 ●kidsを取っている	●特性カンファでの目標決めを個別支援計画書や今見ている姿から取り出すだけでなく、KIDSも見ながら考えるといいと思う。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	17	1		●カンファレンスの周知ができていないと思うので、いいえにさせていただきます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	18	0		●チームで立案しているが、実際にプログラムが動き始めた後に調整をしている際は、特定の職員の突発的な対応や意向がスタンダードに再設定される場合が多いように感じる。 ●活動プログラムの立案に関わる職員に偏りが見られると思う。

援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	17	1	●前月と玩具がかぶらないようにしたり、運動面でもルール遊びは様々なルールを行うように考えて立案を行なっている。 ●月で立案している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	17	1	●個別リハの活用	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	17	1	●クラスの人数の確認に時に気をつけています(災害時の把握等につながるため)	●受け入れでバタバタしていると声をかけ合う余裕がなかったり、送迎に出ておられる方にはタイミングを失うことが多いです。前日に確認してはどうかと思っています。 ●当日の療育の内容を把握せずに支援に入ることがある為、再度スケジュールの確認を徹底するようにします ●より、支援内容を話せると良い
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	18	0	●午睡時の振り返り ●気づきを共有できるように気を付けています。	●こうした良かったということやトラブルがなかったと報告が多い。何もなかったということはないし、何もないと考えてしまう中で有益な支援は生まれにくいと思うので、細かなことでも出せるといいと思います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	18	0	●支援内容や支援を行った際の本児の様子等生活面へ記録している ●メモ程度でも記録を残せるようにしています	●記録を書くこと・終わらせることに意識が向きすぎている場合が散見されるように思います。特にイベントやカンファレンスがある時など。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	17	1		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	18	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	18	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	17	1	●重心、医ケアは実施していない	●療育センターなどの専門的なところはリハの先生が意見交換等をしているが療育している側には情報がおりてこないことがある
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	16	2	●重心、医ケアは実施していない	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	18	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	18	0	●就学シートや引き継ぎのご連絡を取り合っている	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	16	2	●療育センターのリハビリの先生に療育等支援事業を使い来て頂いた	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	18	0	●お出かけで、交流機会がある	●インクルーシブ的な意味でもっと増えるといいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	6		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	18	0	●日頃よりセンターでの様子をお伝えしながら、家庭や並行通園を行っている園の様子を聞くようにしています。	●努力はしていますが、こちらからの報告が主になってしまい、保護者の話をじっくり聞いているのかなど不安になる時があります。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	18	0	●送迎の際にお話したり、モニタリング等でお話が出来ている ●ファミサボの実施		
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	17	1	●お困りのことがあるようであれば、職員間で共有、確認し保護者様へお伝えするように心がけています。		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	18	0		●説明と同意に対する時間や機会はいく取られていると思います。疑問やお尋ねがある時にもっと気軽に保護者がたずねられるようになるといいと思います。	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	18	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13	5	●ファミサポの実施	●そのような団体があるような話を聞いたことがないです。発達障害の子と身体障害の子でグループ分けした会があってもいいと思います。悩みの質が違うと思うので
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	18	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	18	0	●ホームページで開示している ●ホームページの更新が出来る	●せっかく発行したおたよりが保護者に確認されているのか不安になることが多いです。見てもらっていると安心するのですが、既読確認がつかずこちらの一方通行かなと感じる時もあります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	18	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	18	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	12	6		●そのような機会を拝見したことはないですが、拒絶してはいい印象です。安全の問題はありますが知っていただく機会は欲しいなと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	18	0	●毎月の避難訓練	●バスルートの避難場所は、以前とルートも変わっているので再度検討した方がよいのではないかとおもいます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	18	0	●毎月行なっている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	18	0		●もっと色々な書類ケースの後ろにでも確認できるように一覧があるといいと思います。ボディチェック表示など。その時近くにある書類でばつと確認したいこともあ
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	18	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	17	1	●その時その時の振り返りで全体共有している。	●キントーンの報告ファイルを開けば事例集になっていますが、前年度分などで一覧になっていてもいいかもしれません。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	18	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	18	0		